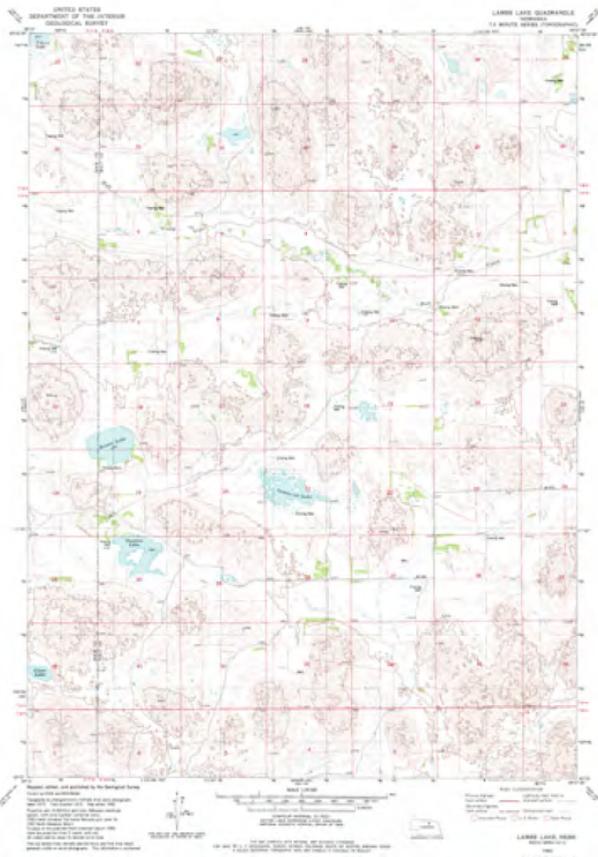


DRG ファイルの整飾情報の自動削除

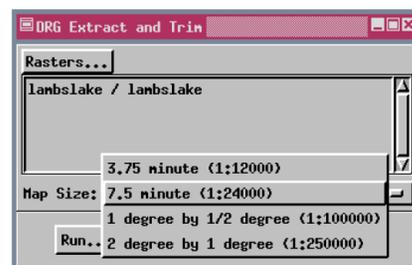
ご存知でしたか?... TIFF 形式の DRG ファイルを選択して抜き出しを行い、自動的に画像の回りの整飾情報を削除できます。(http://topomaps.usgs.gov/drg/)

DRG ファイルの整飾情報の自動削除によって...

- 初めに USGS から Digital Raster Graphics (DRG) ファイルを入手します。
- 画像周囲の整飾情報を自動で削除します。
- インポートする必要はありません— DRG TIFF ファイルを選ぶだけです。
- 同じスケールの複数の DRG ファイルを選ぶことができます。
- DRG ファイルは 4 つの異なる地図スケールから選択できます。
- DRG ファイルは RVC 形式になり、モザイクや表示に使用することができます。



隣接する DRG(Digital Raster Graphics) ファイルを表示したりモザイク処理を行いたい場合、画像の回りの整飾情報は不要です。ここでは DRG ファイルが 1 つだけ選ばれていますが、複数選択も可能です。



DRG ファイルの整飾情報の自動削除機能の使い方

- [画像 (Image)]>[ユーティリティ (Utilities)]>[抜き出しとトリム DRGs(Extract and Trim DRGs)] を選択します。
- [ラスタ (複数)(Rasters)] ボタンをクリックして、DRG ファイルを選択します。
- 地図縮尺を指定します。
- [実行 (Run)] をクリックして、出力ラスタに名前を付けます。

さらに知りたいことがあれば...

下記のマニュアルの「DRG ファイルの整飾情報の自動削除 (Extract and Trim DRGs)」をご覧ください
オンラインリファレンスマニュアル



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp